

刊夕日九月一十
常 新 日 報

定価一紙六分
発行所 常新日報社
印刷所 常新日報社

「金色夜叉」を語る

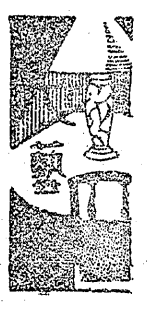
真繼 雲山

(二)
これで金色夜叉は終つてゐるのである。さうして薄倅なお宮のこの情緒は、やがて萬人の感懐でなければならぬ。斯く申す私も久しくお宮の考への邊りに停頓して、四邊ことごとく残りてゐるに自分ひとり悄悄と逝かねばならぬ死の悲哀について幾たびも考へさせられた。
しかし道を求め、佛を求め永生を求むること二十年今にして私は、その滞着より轉出し解脱することを得たやうに思ふ。
私が年來、斯く生死出離の要文を認むるを見て私をさもくの名僧智識ならんと感嘆ひせられた方々が時折り訪ねて下さるは光樂なるも私は依然たる昔のまゝの泥凡夫であるは申し譯ないがこれは
欲界の散地に生をうくるもの、心豈に散亂せざらんや、煩惱具足の凡夫、いかでか妄念をとむむべき、妄念を起さずして念佛せんと慮はんは生れつきの目鼻を取りて念佛せんと思はん、が如し

といふ法然上人のお言葉を借用し、目鼻を具ふるが如く妄念は地體なりと觀念するの外はない。たゞお宮の生死觀より二歩を轉出し得たるに至幸とするのみ。
然らば、如何に轉出したるかと問はれんに、それは體驗であるゆゑ言説の及ぶべきものはないが、たゞ私には成住壞空を繰返へす生前と死後の一切のまことの相がハッキリと見透せたのである。但し明日にも重病に臥し藥餌に親しむとき死を厭ふ心のあるまじきを言ふにはあらず、斯く申も現身現在の心もちとして死を豫想して、心の暗鬱を覺えないといふに止まる。
存覺上人臨終の遺偈に「彌陀佛を念じて今西方に」

ノット

表のつかない下駄が足指でよごれたのは指に鹽をつけて、力を入れて、こすり、乾いた布でふきとりますときれいにとれます。表付は布が脱脂綿を酢で少々しめし、汚れの所を拭きその後を水でふき上げます。
いたる、形名順に絶して生死永く亡ぶ」とあり、自分の生死が亡びてもアトに蚊や蚤が残るといふのは「お



常磐歌壇 上野 孤舟
秋の朝もの皆涼しもうこしの廣葉のゆれて風は過ぎ行く
秋の夜獨り夜なべをする時裏さどに鳴くこぼろぎぞさびし
しとくと秋雨降りし夕まぐれ山茶花散れば寂しくもある

産名城磐
鯨節
魚問屋
店代理平命生本日大最優最
榮 盛 賀 志
番三一電 目丁四平

三河産業博覽會 金屏受賞
昭和産業博覽會
かまびら
おまじ
平町一丁目
お惣菜用 さつま揚 吉原揚
不様寅
電話一四一番

高級貸切……
不二タクシー
電・三二
内科小兒科花柳病科
藤沼醫院
入院需應 平町紺屋町 電話五〇七番

學生服賣出
温かい丈夫な黒小倉通學服を豊富に提供
小學用(長ズボン付) ¥0.80
全……特製品 ¥2.00
中學用特製品 ¥2.90
おみや洋服店 平 電203

◎診療時刻午前八時より午後五時迄
但急患は此の限りに非ず
平町 **磐城共濟會** 電話六四一番

内 科	醫學博士 石山 謙
小 兒 科	醫學博士 佐久間 重
外 科	醫學博士 桂 久
喉科皮膚科	醫學士 有馬 雄
産婦人科	醫學士 五十嵐 二
X光線科	醫學士 佐久間 粹
衛生試驗所	醫學博士 石山 謙
藥 局	藥劑士 高 孝

毎度御ひい
有難ふ御座のます
うなぎの御用命は
うなぎ 奴
平町田町(電話二二番)
ホール御座敷の設備あります。皆様の御立寄を!!

青沼新町長の試金石

來年度豫算の編成

市制實現、下水路完備

第四校、公會堂建設等

重要案を如何に盛るか

來年度豫算編成を目前に控へ平町當局では青沼新町長以下高級吏員の手によつて既に準備に着手したが伏見町長隠退の後を承けて就任した青沼町長に對し町民は青沼氏の行政的経歴と其の手腕に期待して居り其の執政振りに興味を以つて注目してゐるが難事と目された酒井助役の留任と水道課長助役兼任を就任直後間髪をいれず決定發表して一部町議の暗躍策謀を一蹴し去つたあたり全く凄じ程の切れ味を見せたが平町の前途には市制實現と言ふ大問題を筆頭に下水完備、第四小学校新築、公會堂建設、舗道完成等々の重大案件が山積して居り此等の重要案件に青沼町長の鋭刀がどんな斬れ味を示すか町長新任初年度の豫算編成に此等重要施設計劃が其の片鱗を現はれるものと豫想され青沼町長の明年度豫算の編成は青沼町長最初の試金石として各方面から絶大な注目を拂はれてゐる

平署の犯罪統計

依然窃盜が首位

詐欺賭博傷害の順

平警察署で去月中に取扱つた犯罪統計に依ると檢舉數百三件檢舉人員七十名で内最も多いのは矢張り窃盜の五十六件二十六名詐欺の十九件十三名賭博が二件八名傷害四件五名等であるが窃盜の被害高は銅線の二百九十圓四十四錢、衣服類百四十八圓七十錢、現金が九十一圓六十錢、金物類六

と民衆の協力」と題する講演がある

米騰る

九日發表

平穀物検査所管内に於ける地米の買入相場は本月初旬より五等新米古米共一俵七

町内一周リレー競技

桃色組が優勝

本日平第一校で

既報平第一小學校では本日前十時校門出發平町一周リレー競走を行つたが戦績は左の如く桃色組が優勝した

- 1 桃色 五十二分四十五秒(チーム名)猪狩五 福田 佐藤和 正木 岡手 大柴 塚越 馬目正 馬目 櫻山 高橋 小銀治 會田 會田 緑川 石坂 大塚 金子 愛川 五十嵐 遠藤 鴨原 長谷川 片寄 小堀 和田 吉田 矢口 井上 清水 2 紫 3 黄 4 黄桃 5 橙 6 緑 7 赤 8 赤黒 9 赤白 10 黒 11 緑橙 12 緑桃 13 黄 14 左側通行

圓五十錢と十錢の高値を見たので平町の米穀小買人組合では去る九日より市内の小買相場を次の如く變更發表した

- 田糶白米一キロ廿 錢
- 陸糶白米 同 十九 錢
- 搗 麥 同 十九 錢
- 平 麥 同 十二 錢五

磐中懸賞應募

中學校では生内校徒より東京時事新報社主催「國旗」と題する作文募集中の處本日締切をなし山崎、山名其他國語、漢文教諭立會の下に審査を行ひ各學年級より六點宛計三十五點を選び明日送附すると

磐中校内 体育大會

四年三組優勝

既報磐城中學校では昨八日午前十時より各部の選手を除き第二回校内體育大會を開催したが各種目の優勝者及び優勳クラスは左の如く全校では四年三組が優勝した

平營稅委員會 平町學務委員會は来る十四日午後二時より役場會議室に於て開かれるが協議事項は來年度就學兒童收容方法其他の件である

参拜團體

廿日會が募

集中

平町廿日會では来る十三日の日曜に際し関井嶽の參詣團體を募集中だが會費三十錢辦當持參で一般の來會を歓迎すると

祝 十週年

石城郡内郷村 磐城炭礦株式會社 礦業所

石城郡湯本町 入山採炭株式會社 礦務所

石城郡好間村 古河炭礦好間坑務所

石城郡好間村 小田炭礦株式會社 萩原坑業所

前衆議院議員 木村 清 治

貴族院議員 金 成 通

衆議院議員 鈴木 辰 三 郎

古川 傳 一 石城郡植田町

山 崎 登 石城郡錦村

安島 重三 郎 石城郡山田村

市 原 醫 院 平町田町(電話二一四番)

地方空前の落下傘

實演見事に成功

強風下に決死的覚悟で 公約を果した永山嬢

數千の觀衆感激

屢報昨八日公開の筈であつた松崎飛行士の謝恩高等飛行と女バラシウフター長山キヨ子嬢の落下傘實演は折悪く強風の爲め遂に午前中の決行

不能に 陥り此の日妙

技を見んとして朝來續々と詰めかけた幾千の觀衆を失望せしめたが地方空前の熱狂的觀迎に感激した松崎飛行士を始め永山嬢、木下、高橋兩飛行士等は假令強風が續こうとも飽まで同日中に決行し觀迎に酬い決死的覚悟で公約を果せりと

悲壯の 決意を固め午

後四時二十分四倉海岸を出發した松崎、アプロの二機は翼を連ねて再び平町上空に雄姿を現はし數回の旋回飛行後午後四時三十分平町の東北夏井川上空二百米に現はれたアプロ機上から突如彈丸の様に落下した一黒点アプロと言ふ間に

見事に 開いた純白の

落下傘……折柄の夕日に照彩いて大きく二搖二搖双手を高く振り上げた永山嬢の雄姿は瞬時にして地上平窪

村幕内地田圃の黄金の稲穂の上に降り立つた。待望の落下傘實演決死的覚悟で公約を果して喜びの永山嬢は駆付けけた記者に

恩を仇で返す男に

主人が涙の願

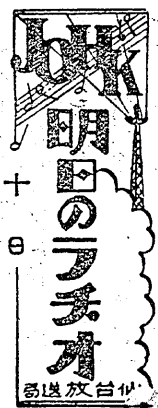
窃盜犯人を釋放

平町大町十二木炭商中井正成方店員東京市深川區古石場四丁目十一生れ熊澤國雄(三)は主家の賣溜金木炭等を窃取して平署に檢舉取調を受けてゐたが主人中井は昨日平署に出頭犯人の貰下げを願出たので係官が事情を聞くと中井氏は昭和三年一月東京麻布三聯隊第十中隊に入營した際前記熊澤も同中隊にあつて戦友となつたが熊澤は性來手癖が悪く忽ち中井氏所有の金時計を窃取して兵營内に問題となつた際氏は熊澤が犯人と知つたので時計を受取つて内濟に終つたが其後氏は除

女人國か平町

男よりは女が多い 職別は無職が筆頭

平町役場で十月現在に調査した平町の人口は男一萬三千七百六十人、女一萬三千八百二人、計二萬七千五百六十二人で女が四十二名男より多い譯であるが此等三



明日のフォト 報豫氣天 今晩も明日も 西の風曇り後晴

今晚の部

後六、〇〇 子供の時間
お話「江川太郎左衛門」古見一夫
後六、二五 英語講座 初等科(二)岡倉由三郎
後七、三〇 講演「七郷の事績に就て」徳田茂二郎
後八、〇〇 映畫物語「オ氣象通報 番組豫告

明日の部

前九、一〇 料理献立「ベーカーアップル」朝倉長吉
商業(男)一六四計三三〇
工業(女)一七〇四計三三〇

町村長支會總會

十二月平町に開き 装甲自動車献納の 割當額を決定

農産物 品評會

澤渡青年が

矢野校長出福

平商業學校校長矢野泰次郎氏は明日より三日間本縣男子師範學校に於て開かれる縣下中等學校長會議に出席の爲め今朝平發八時十五分にて出張した

石城町村長支會

石城町村長支會では来る十二日午前十時より平町役場會議室に總會を開催し過般土木匠救事業に關して陳情せる委員の経過報告並に今回陸軍に献納する装甲自動車建造資金の本郡割當額三千三百圓郡下町村への割當等に就いて協議すると

小鼠泥

捕まゐる 余罪多い

胡鼠泥に 徵役一年半 今日判決

看護婦試験 合格者 本日發表

本年度縣下第二回看護婦試験合格者は九日發表されたが平町平産婆看護婦學校生徒十三名の受験者中次の十名が見事合格した

石城郡内郷村大字高坂字御殿山

石城郡内郷村大字高坂字御殿山居住宮城縣刈田郡大鷲澤村字三澤生れ安部理一(七)は去る六日茨城縣助川町で時計萬年筆等數件の窃盜を働き七日綴驛に下車徘徊中を平署員に取押られ目下平署で取調中であるが餘罪多數ある見込みであると

石城郡箕輪村大字高野字石

石城郡箕輪村大字高野字石畑五十六番地無職高萩喜久男(三)が去月五日より本月四日迄湯本町字辰ノ口石河君太郎方より金側懐中時計を窃取した外前後五回に亘り内郷村で靴五足其他雜品數點此價格百五十餘圓を窃取した窃盜事件の公判は本日平區裁判所に於て關口判事係り上田檢事及び吉田書記立會の下に開廷され事實取調の上檢事より徵役一年六ヶ月求刑即決求刑通り懲役一年六ヶ月を言ひ渡された



【禁轉載上演及映畫】

悟道軒圓玉演
近藤紫雲畫

第百九十五席 平手造酒

賭場開きの大盤振舞

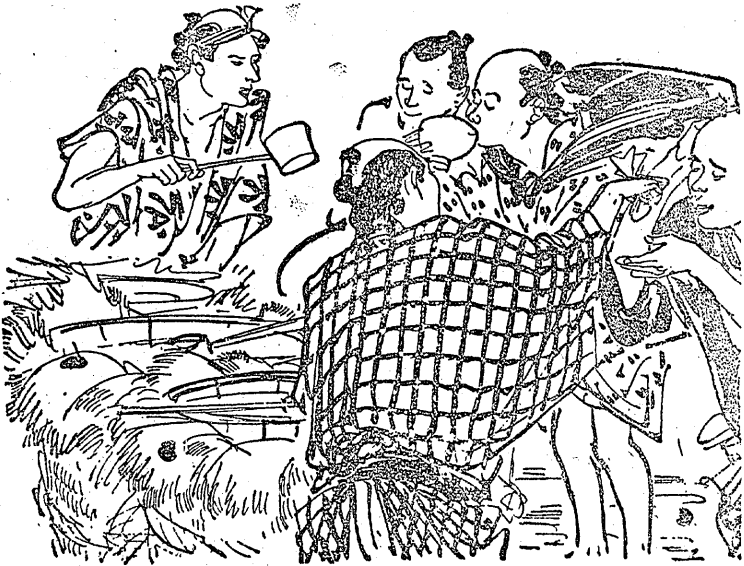
舍利の源治は客人に苦情を云はれて

源「イヤ洵に何うも飛んだ御災難でございました、何しろ相手が繁藏の事で私が怒りますと屹度彼奴は脇差を抜いて暴れませう、さうなると皆さんにお怪俄がございませう、其處でおとなしく金を渡して歸しましたやうな譯で、これは皆さんの御無事を計りました譯でございませう、それにしてもハやお氣の毒様な事で……」

苦しい言ひ譯をする、此方は笹川の繁藏、喧嘩の種を蒔くつもりでこの賭場を荒したもので、この知らせを聞いて豊岡へ出張つて居た洲の崎の政吉が戻つて来て容子を聞くと繁藏が場金を渡つて行つたとの事繁藏はそんな事をする男ではないそれがかういふ事をするやうでは何か意志のある事だらう、まづこの事を親分に知らせると飯岡に來て助五郎に此の事を話した

助「繁藏の今度の仕業は瓢箪同様、これを科條にして縛つてしまへ」と云ふと政吉が政「それは親分宜しく……」

ますまい、成る程賭場に踏込んで客人の賭つた金まで渡つて行くは盜賊に等しい所爲、然しそれを咎めるは堅氣のする事、博奕打が場金を渡はれることはまづある事、して見れば夫を科條にして十手を振廻すははめ



た事ではございませぬ

助五郎は繁藏に賭場を荒されたを憎み俠客として仕返しをする事が出来ねえからそれで御陣屋の威光を笠に被て繁藏を盗人にして縛り上げたと仲間の人に云はれてはお前さんはじ身内一

同の恥になる又繁藏には大勢の子分もあり、親分の繩のかゝるを黙つて見てゐる者もありませう、命を捨てるまで繁藏を護るに相違ない、御用と踏込んで此方の者が怪俄をした上に繁藏を逃がしたとなれば是も亦恥になりませう、先方の仕業が博奕打であらば此方でもやはり博奕打としての返報をしたらようございませう

の祝いと稱してこの町を通る馬子や行商人に酒を振舞ふ、四斗樽の鏡を抜き柄杓を添へそれが三樽も並んでゐる、馬子や行商人は大いに喜び御馳走様でございませうと禮を云つては酒を飲むその日に恰度市日でしたから、常より人出も多い

若「洵に輕少でございませうが」
○「どういたしまして、流石は飯岡の助五郎どんだ、する事が面白いだ、立派な親分だの……」
大層助五郎の評判が宜しい、この事を聞いた繁藏の子分小南の庄助と云ふ是れは兄イ株ですが、この者の兄弟分五六人、このまゝに捨て置いては親分の恥になる、ソレ出かけて暴れてやれと騒ぎ立てたが、是か何うなるか。

物質一般 各種債券類

三井質店

平町四丁目 電話六〇六
川目六番 岸

看護婦急派の求めに應じます

平看護婦會

平町南町 電話三〇七番

胃腸病妙藥

昔ハ料理ニ必ズ「シ、茸」ヲ用タリ今ハアマリ使ハズ甚不都合ノ次第ナリ「シ、茸」ヲ煎ジ臥寝前ニ服用スレバ胃腸ヲ整ヘ便道正シク氣分爽ナリ諸病ヲ未然ニ防グ効能アリ人助ノ爲メ廣告ス此ノ秋ハ茸類ノ出ル時節ナレバ新茸程効能著シ各家庭ニテ百匁位ツ、常備シ置ク事肝要ナリ

移轉お知らせ

紅葉の色鮮やかな晩秋が訪れました弊店事罹災後は殊更に皆様の御同情御盡力によりまして丸新デパート内に假營業をいたして居りましたが今回後記の處へ移轉致し一層努力勉強いたすことになりました今後共相變らず御引立に預り度う存じます先は移轉の御挨拶少々御願ひまで。
昭和七年十一月

根本時計店

平町二丁目 (三幸堂跡)
主根本義 電話六〇七番

毎度御ひいさ

有難う御座います
江戸前都壽し始めました。
是非御試食を願います……
……出前迅速……

大蒲焼 折壽司 仕出し部

田町魚榮

電話四二四番